

宮坂建設工業が協定書に調印
積極的な緑化事業を
 札幌市と協働型森づくり展開



業界では初めての
 しっかりと握手を交わした

の締結団体とな
 ー写真ー

る。今後、同市 宮坂社長は「こととして創
 から助言や技術 業九十周年を迎えることも
 的な援助を受 あり、日ごろからお世話に
 け、積極的に森 なっている地域に何か継続
 づくりを進めて 的にできることはないか」
 いく。 との思いから今回の活動を

活動区域は市 計画。「環境問題を身近に
 内の山口緑地内 感じ、自分たちが汗を流し
 約七千平方以 て活動することで環境問題

この協定は、平成二十年 同社は平成三十年までの八
 度から森づくりを促進する 年間で三千五百本の苗木の
 取組の一つとして実施され 植樹・育樹活動を展開し、

ているもので、五十年程 同緑地の掲げる「人と自然
 度の植樹・育樹活動を含め が共生できる、レクリエー
 た「森づくり協定書」を同 ションの森の創造」という

市と締結。市内の公有地で コンセプトのもと、森づく
 企業や団体が主体となる森 り活動を展開していく。

調印式には、宮坂社長ら 第一回の植樹活動は今秋
 に連携した活動を行う。 三人が出席。調印とともに
 同社は市内七番目、建設 宮坂社長と上田文雄市長が

関する協定書に調印。札
 幌市と連携協定を結び、協
 働型の森づくりを進めてい
 くことを約束した。

同社は市内七番目、建設
 宮坂社長と上田文雄市長が